＜　入院時から退院時までの流れと具体的な支援内容　＞

入院時

主治医

医療

本人・保護者

①紹介

②支援希望

⑥連絡

在籍校・園

市町村
教育委員会

県教育委員会

③支援依頼

病児学習支援
ボランティア人材バンク

④情報共有

⑤相談支援
・ニーズの確認
・支援内容の提案

⑦情報共有

地域の
特別支援学校

入院中

病弱教育サポートセンターきらり☆

特別支援教育アドバイザー（病弱教育）
・市町村教育委員会や病院との連絡調整
・各校、園への助言

病弱教育コーディネーター
・病院や各校・園との連絡調整
・復学までの支援の推進
・病児学習支援ボランティア人材バンクとの連携

サポートセンタースタッフ
・病弱教育に関する情報発信
・県内病弱・身体虚弱特別支援学級への支援
・地域の特別支援学校との連携

相談支援

・本人や保護者、主治医、在籍校・園から病気や治療に関することや不安等を聞き取り、ニーズに合わせて支援を提案します。

心理面への支援

・治療や生活に対する不安等を聞きとり、主治医の助言を得ながら病気理解やセルフケアに関するサポートをします。
・入院中、心身を開放できる活動（制作やゲーム）を提供します。

学習支援

・学習空白を生まないように、在籍校と連携し、学習をサポートします。
・病児学習支援ボランティア人材バンクと連携し、直接支援や遠隔支援を行います。

復学に向けた支援

・ICT 機器の活用による在籍校との遠隔交流（授業や行事等）を行います。
・本人、保護者、主治医、在籍校、サポートセンター等の関係者で行う支援会議を調整します。

退院時

退院後

《　実際の支援から　》

先生と一緒に勉強やゲームをして楽しかった。病室に来てくれる時間がいつも楽しみだった。（入院児本人）

学習支援の先生と担任の先生が連携をしてくれたので、勉強の遅れや学校に戻った後の不安が軽減されました。（保護者）

退院後の自宅療養中の学習についても、在籍校との連携のもとで支援を提案します。